

講義コード	11C0120600	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	経済指標の読み方					辻村 雅子		第2期	
履修前提条件				備考					
授業の目的	経済全体の変動は景気循環と呼ばれ、好況、景気後退、不況、景気回復というサイクルを不規則に繰り返している。個々の主体は経済取引を通じて互いに密接に関わっているため、企業や家計において意思決定をする際、経済全体の現状を的確に把握することが必要である。本授業ではマクロ経済学の主要な経済変数に焦点を絞り、景気を読み解くための指標や一次統計資料を紹介する。								
到達目標	経済を読み解くための指標にはどのようなものがあるのかを把握し、それが示す意味を理解できる。また経済統計を実際に活用して、経済の動向を読み取り、応用分析を行うことができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	60時間以上の授業外学修を行うこと。授業中に提示した課題を解き、レポートとして提出すること。								
授業計画	【第1回】はじめに：日本経済と景気循環 【第2回】景気を見る指標（1）：景気動向調査 【第3回】景気を見る指標（2）：景気ウォッチャー調査 【第4回】景気を見る指標（3）：全国企業短期経済観測調査（短観） 【第5回】消費（1）：家計の消費行動を把握する家計調査の解説 【第6回】消費（2）：家計調査から家計の所得や消費構造の実態について解説 【第7回】物価（1）：消費者物価指数と指数算式の解説 【第8回】物価（2）：指数算式の解説 【第9回】労働（1）：就業状態を把握する労働力調査の解説 【第10回】労働（2）：世界の失業率、有効求人倍率等労働に関する指標の解説 【第11回】生産（1）：日本標準産業分類と工業統計調査の解説 【第12回】生産（2）：経済センサス、法人企業統計調査の解説 【第13回】生産（3）：労働生産性、資本装備率について分析 【第14回】財政・金融（1）：国庫収支と財政政策について解説 【第15回】財政・金融（2）：金融統計と中央銀行の政策について解説								
成績評価の方法	期末のレポート課題（80%）と授業中の課題の提出や取り組み姿勢（20%）で評価する。								
フィードバックの内容	講義内の課題に対する解答例は、翌週の講義内やポータルサイトにて発表する。								
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	経済学、統計学およびExcelの操作に関する基礎的な知識を前提として授業を行う。 課題を解く際には、実際に経済統計をダウンロードして分析するため、パソコンを利用する。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。								
その他									